

議 事 録

会議名	令和２年度第２回豊山町学校給食アレルギー対応検討委員会		
年月日	令和３年３月２５日（木）		
時間	午後２時～午後３時		
出席者	委員	委員長　上原　正子（愛知みずほ短期大学） 委　員　近藤　良江（志水小学校長） 委　員　伊藤　和代（豊山小学校養護教諭） 委　員　坂東　裕子（豊山中学校栄養教諭） 委　員　服部　令　（西春日井広域事務組合消防本部） 委　員　前田　みのり（志水小学校保護者）	
	事務局職員	教　育　長　北川　昌宏 学校教育課長　井戸　茂治 学校教育係員　安藤　幸雄 学校教育係員　中村　佳代子	
欠席者	委員	副委員長　野崎　千佳（N.キッズファミリークリニック）	
協議事項	１　教育長挨拶 ２　議題 （１）除去食提供に向けた取り組み状況について （２）給食センターにおける除去食の対応方法について （３）意見交換 ３　その他		
議事内容			
委　員 事務局	１　教育長挨拶 本町は卵と乳の除去食提供を令和３年４月から開始するため、様々な準備を進めてきた。本日はこれまでの取り組み状況や給食センターの現在の準備状況などについて説明をさせていただく。皆様方にはそれぞれのお立場から忌憚のないご意見をいただき、児童生徒へのより良い学校給食につながる会になることを期待している。 ２（１）除去食提供に向けた取り組み状況について —説明— 新小学１年生はまだ面談を実施していないが、その人数も除去食提供予定者数に入っているか。 予定者数には入れている。 新小学１年生については、まだ面談を実施していないが、調査票により、豊山小学校で、２名の児童が食物アレルギー対応を希		

委員	望されている。そのうち1名は除去食を希望し、もう1名は希望しないとのことご回答であった。豊山小学校以外の小学校については、食物アレルギー対応の希望者はいない。
事務局	新中学1年生については、小学校から中学校へ引き継ぎを行うが、どのような形で引き継いでいくかご指示はあるか。個別の取組プランを作成したので、それを小中学校の間に相談して顔を合わせて引継ぎをするというイメージでよろしいか。
委員長	学校に丸投げするのではなく、この検討委員会で話を伺いながらその結果を踏まえて、統一的な方法が必要であれば統一し、個別にすることであれば行ってくださいということになる。大切なことなので、慎重に行いたいと思っている。
	小学校から中学校へ移行する場合の引継ぎの方法について、また事務局から学校へお知らせしてください。 先ほど話のあった小学新1年生でアレルギーを持っているが除去食を希望されていない1名については、保護者のお気持ちなど面談でしっかり確認をされた方が良かったと思った。
	2（2）給食センターにおける除去食の対応方法について —説明—
委員	3月8日の実践訓練の時に、学校側の要望として、配達票を一人ずつ透明なファイルに入れてもらえると、そのまま教室まで濡れたりしないで持っていけるのでよいという希望を出したのですが、どのような決定になったか。
事務局	学校の意見をもとに、次回からは一人ずつファイルに入れて行っていきたいと考えている。今後も実践していく中で問題点を出していきながら、改善工夫しながら進めていきたい。
委員長	様々な先進自治体も参考にしたと思うが、豊山町の給食センターの施設に合った方法というものを考えていくことが必要になると思う。
事務局	来年度以降もこの検討委員会を継続し、課題や改善点についてご意見をいただき、アレルギー対応についてブラッシュアップしていきたいと考えている。
委員長	実際行ってみないと分からないことが多い。人が行う仕事なので、経験のある程度積むことも大切かと思う。
事務局	4月に2，3回予定している実践訓練の実施日や手順については、また学校へお知らせする。
委員	2（3）意見交換 学校現場としては、4月30日に早速卵の除去食が出ることにについて不安に思っている。まだ面談を実施していない新1年生で、卵の除去食希望者がいるため、新1年生は4月21日から給食が

事務局	スタートし、すぐに4月30日に除去食の対応をしなければなら ないということで、とても緊張感がある。4月の実践訓練は新1 年生もできるのか心配。実践訓練の日程や手順は早めに知らせ てほしい。実際の除去食提供日に、この日は誰の除去食が運ば れてくるのかというのは、給食センターから一覧等でお知らせ があるのか、学校側としては一覧でもらえると助かる。 今後実践していったって、無理と判断すれば4月の除去食をや めることも構わない。あくまで現場に従いながら柔軟に対応し たい。こういった忌憚のないご意見をたくさんいただいて我々 も学校と調整したい。
委員	消防としては、除去食の人数というものを今まで把握してい なかったんで、今回知ることができ、消防側も緊急時にできる だけ早く対応できるよう職員に周知したいと思う。また、アレ ルギーの対応については、小中学校の教員向けに、消防が出向 いて緊急時の対応、通報体制、エピペンの使用方法等協力して いこうと思っている。
委員	最終的に子どもの口に入る直前の作業をするのは先生方であ るが、先生方は、始めてやることであり、なおかつ新1年生だ と顔と名前もまだ一致するのに大変な時期であると思う。事務 局は早めに連絡をし、学校としっかり連携をしてもらえると 先生たちも心の準備ができて実施できるのかなと思う。子 どもたちの命にかかわることなので、対策は万全で行って いただきたいと思う。
委員	私も保護者の面談に入ったが、保護者は除去食が提供され ることに対して大変喜んでいて。自分の課題としては、確認 表の点検など、どうしても養護教諭に業務が集中してしまう ところがあり、養護教諭が不安を感じていることに対して どうしようかと思っている。もし良い意見があったら教え ていただきたい。
事務局 委員	前回少し話がでたが、無配膳の時には、無配膳の子の数 は除いて配膳されるのかも一度確認したい。 除いて配膳するよう対応する。 確認表の卵と乳については、養護教諭が確認した後、給食 センターにおいても栄養教諭が確認をし、2重のチェックを する。また、まだ検討中ではあるが、調理員に配布する除 去食対応者の一覧表を学校にも渡せるとよいと考えてい る。
委員長	教職員向けに、4月から始まるアレルギー対応について、 理解していただけるような資料を1枚くらいで作られたら どうかと思う。学校全体の理解を求めていけば、事務局が 行っていることが理解されやすいと思う。
事務局	教職員に理解していただけるよう検討する。